

授業改善 ルーブリック(判断基準表) 集約

10 月 集 約

令和元年度 佐伯市立明治小学校

レベル1	本時のゴールが見えるめあてが提示されている。	第2課題(深める・集約)の準備ができています。	考えとその根拠を書く時間を設定しており、8割以上の子どもが考えと根拠が書けている。	考えを深め討論ができる交流になっている。	児童の言葉でまとめができています。(キーワード等)	学びや変容を実感できる振り返りである。
レベル2	学習内容が具体的にわかるめあてが提示されている。	考えが多様に(2つ以上)出せる課題になっている。	考えを書く時間を設定しており、8割以上の子どもが書けている。	考えを伝え合える交流ができています。	本時の課題に対する答えになっている。(課題との整合性)	児童の言葉で振り返りができている。(めあてとの整合性)
レベル1	めあてが提示されている	疑問形で課題が提示されている。	一人で思考する時間の設定がある。	ペア活動やグループ活動を設定している。	学習のまとめができています。	めあてに対する振り返りがされている
レベル1	めあてが提示されていない	疑問形の課題が提示されていない。	一人で思考する時間がない。	考えを交流する時間を設定していない。	学習のまとめがされていない。	学習の振り返りがされていない。
項目	めあて	課題	5分間思考	交流	まとめ	振り返り

レベル	自己評価結果(のべ人数)					
3	21	6	18	9	15	12
2	32	28	16	32	28	16
1	5	8	14	6	7	12
月合計	58 (28)	42 (24)	48 (28)	47 (25)	50 (26)	40 (24)
月平均	2.1	1.8	1.7	1.9	1.9	1.7

今月の振り返り	<p><成果・改善した点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあて、課題はいつもレベル2は達成できるように心がけている。振り返りの時間をできるだけ確保し、子どものことばで振り返りを言えるように意識している。 ・体験活動と表現活動を繰り返しながら行った。自分の困りを友だちから解決してもらい、レベルアップした状態で次の作戦にうつる。1時間の流れというより、単元の流れがうまくいったと思う。子どもたちの振り返りの言葉がとてもよかった。 ・めあては出せた。課題とまとめが対応していたと思う。(整合性がとれていた。) ・グループ活動を多く取り入れた。九九のルールや覚え方を楽しく工夫しながら考える授業になってきている。子どもから子どもへの説明にも取り組んでいる。
	<p><課題・改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数の算数の授業では、なかなか考えを深め合う学習ができない。 ・めあてが具体的ではなかったかもしれない。課題を設定しても深めることができていないのか不安。 ・まとめを子どものことばで言えるようにしていきたい。 ・算数は、めあてや課題をきめてまとめとの整合性をあわせるのが難しい。←先に「まとめ」を考えて、課題を設定してください。英語は、クラスの実態にそった取り組みを考え、どのような方法がよいのか考えるのに試行錯誤しています。 ・課題とめあての使い分けが難しい。特に算数では明確な区別がされにくい場合に、子どもにとってくどくなるように思う。

11月集約 4点セット点検シート

令和元年度 佐伯市立明治小学校

1. 学校の教育目標

ふるさとを愛し、豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きる子どもの育成

2. 重点目標

- ① 学びに向かう力の育成
- ② 仲間を思いやり協働できる力の育成
- ③ 粘り強く努力できる力の育成

セルフチェック基準	
A	達成90%以上
B	70～89%
C	60～69%
D	60%未満

3. 重点目標・達成指標・重点的取組・取組指標【11月】

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	セルフチェック	取り組んだ感想・課題・
学びに向かう力の育成	① 弥生地区標準学力検査で各学年昨年度の成績を上回る ・調査対象: 小1～中2 ・実施時期: 2学期末	新大分スタンダード+J14.W23に基づく組織的な授業改善の推進	・解決、追求したくなる課題の設定を毎時間意識する一付箋に書き込み(1週間1回以上職員室に掲示) ・学びの道筋を掴むための「めあて」「課題」「まとめ」「ふり返り」の明示 ・授業改善ルーブリックでの週1回のセルフチェック(水曜日に時間設定して一斉に実施)	A 3 B 3 C 3 D 0	・ルーブリックで毎週振り返ることにより、次時の授業の見直しができる。 ・算数の課題の設定について意識した。 ・ルーブリックの評価規準についての見直しが必要。 ・全員の振り返りの設定ができないことが多い。 ・付箋の書き込みは、11月はあまりできなかったが、めあて、課題、まとめを意識して授業を行っている。 ・単元計画を作成、子どもに示した。ゴールに向かってスムーズに学習が進んでいる。
	② 単元テスト平均正答率85%以上 ・算数平均60未満を10%未満	学習規律の徹底と家庭学習との連携	・きき方「あいいうえお」の定着、授業開始・終了時刻の厳守、板書とノートの運動化(色分け・カードの使用) ・学びの手引きチェックシートを活用した毎月の振り返りによる検証、改善の実施、がんばり週間の設定→10月15日(火)～21日(月) ・授業と運動した家庭学習(学年×10+10分)の設定	A 1 B 6 C 2 D 0	・姿勢の乱れが目立ってきたので、「姿勢強化月間」を実施。「足は2本机の下」「お腹と机はグー1こ」と指導、帰りの会で振り返りをした。効果あり。 ・家庭学習について、内容ややり直し等全ての児童が行うよう徹底して取組んだ。 ・指導法を改善しながら徹底させていこうにしたい。 ・「聞き方あいいうえお」の定着が不十分だが、意識できる人が増えてきた。
	③ 「授業がわかる」「授業が楽しい」「自分の考えを運んで伝えられた」児童アンケートで肯定的回答85%以上	朝学習の効果的運用による基礎学力向上	・朝学習の完全実施(火曜日・木曜日)→データベースの活用	A 1 B 4 C 0 D 1	・データベースを活用できた。授業の進路や、子どもの理解度に合わせたプリントが作れて便利。宿題にも活用。 ・データベースの活用があまりできていない。活用しにくい。 ・漢字、カタカナ練習
仲間を思いやり協働できる力の育成	① 地域の人・もの・ことを活用した学習や体験学習が楽しい(児童85%)	学び合い伝え合う場の効果的な設定と互いの良さや違いを認め合い協力する態度の育成(生徒指導の3機能に基づいて)	・問題解決型学習の授業への「話し合い活動」(ペア・グループ)を毎単元設定し実施する。 ・板書用カード・プレート(めあて・課題・まとめ・振り返り・ひとり学び・ペア学習・グループ学習・全体学習)を活用し、授業づくりの意識化をはかる。	A 0 B 6 C 3 D 0	・明治夢わく祭によって子どもの意識や行動が変わり、自主的な姿が多くみられるようになった。 ・明治夢わく祭は、チームごとに相談しながら練習した。 ・「友だちの意見を聞いてよかった」と振り返りに書く子どもが多い。 ・発表しても大丈夫という雰囲気づくりに頑張りたい。 ・ペア・グループ活動を積極的に取り入れることができた。 ・話し合い活動が、考えの出し合いで終わってしまっている。相違点に気づく等、交流を深めるための手立てが必要。
	③ 仲間と協力して、話し合いや課題解決をめざす学習が楽しい(児童アンケートで肯定的回答85%)	地域の人・もの・ことを活用した授業や体験学習の実施(生徒指導の3機能に基づいて)	・地域の人・もの・ことを積極的に活用した学習や体験学習を学期1回以上実施する→夢わく祭の充実(体験活動を表現活動につなげる)	A 4 B 3 C 1 D 0	・地域の方を招いて、地域で有名なショウガのお菓子を作った。 ・身の回りの秋に触れて楽しんだ。 ・芋ほりを地域の方でできた。
	お互いを思いやり、安全で気持ちのよい行動の推進	・児童会を中心として挨拶運動の展開(毎日各学年当番を決めて実施)→挨拶についての講演(文理高校)実施し、挨拶の大切さを再認識、意識を高める ・3ない運動(走らない・あばれない・大声を出さない)の徹底、声かけ	A 2 B 5 C 2 D 0	・雨の日の3ない運動の声かけを積極的に行った。 ・3ない運動を低学年もまもられるように、ランチルームでの呼びかけ等を行っていきたい。 ・挨拶はともよい。止まって挨拶したり、目を見て挨拶するなどができている。 ・相手の気持ちになって発言をすることの大切さを話した。文理大附属高校のマナー教室とも重なった。	
粘り強く努力できる力の育成	各自のめあてについてのふり返りを実施	毎時間体育の授業をはじめ各種授業、体験活動で、めあてのふり返りの時間を設定する→がんばりカードの活用	A 1 B 4 C 2 D 0	・マット運動のワークシートを全校に配布。めあてを意識した振り返りができている。 ・カードがあることで自分の頑張りが見え、励みになる。	
	① めあてを持って運動することができた(児童アンケート肯定的回答80%) ② 体力テストで苦手だった項目の記録が伸びた(5月、2月の比較)児童アンケート肯定的回答80%	行事と運動した体づくりや体験活動等めあてをもって、粘り強く取り組む取組を仕組む	遠足や縄跳びをはじめ、学習や体験活動、行事などめあてをもって粘り強く努力する取組を学期に1回以上設定。更に、とび箱週間(10/28～11/8)、マット週間(10/15～10/25)を設定し準備活付けの効率化をはかり、活動時間を確保する。長期休暇時には体力アップカードを作成し取組を行う。	A 2 B 6 C 0 D 0	・マット・跳び箱週間が持久走練習と重なり、体育委員会児童の負担が大きかった。 ・マット、跳び箱の準備、片付けをしてもらい、運動量の確保ができた。 ・週間を設けることで、効率よく練習できた。
	健康な心と体につながる取組を実施	食育や歯磨き指導、外遊びなど健康な心と体づくりに繋がる取組を適年を通して仕組む。早寝・早起き・朝ごはんチェックカードで確認し、歌やダンス等で啓発する。	A 0 B 4 C 3 D 1	・外遊びを積極的にさせている。 ・給食をおかわりする児童がふえてきた。 ・インフルエンザ対策として、うがい手洗い、よく寝る、何でも食べる、運動するを折に触れて確認している。 ・委員会の発表で、歯磨きの必要性や正しい磨き方を指導できた。早寝、早起きについては、引き続き指導が必要。 ・遅くまでゲームをして早寝ができていない。何か取組が必要。	

学校教育目標を「育成を目指す資質・能力の三本柱」で整理する

2019/06/28 (明治小学校・武田)

【学校教育目標】ふるさとを愛し、豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きる子どもの育成

気づき、考え、行動する

	知	徳	体
生きて働く知識及び技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> 学びに向かう力の育成 確かな学力 かしこい子 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間を思いやり、協働できる力の育成 思いやりと感謝の心 やさしい子 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く努力できる力の育成 たくましい気力、体力 たくましい子
未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい学習習慣と基礎・基本の学力を身に付けた子 学習内容を他の学習や生活の場面で活用できる子 	<ul style="list-style-type: none"> 時と場に応じた言動ができる子 (あいさつ、返事、言葉遣い、かたづけ、マナーやルール等) 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身に付けた子 (早ね、早おき、朝ごはん、ノーマメディアアデー等)
学びを人生や社会に生かそうと向かう力、人間性等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えをもち、自信をもって表現できる子 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの考えを伝え合う子 比較、分類、関連付け、理由付けなどして考えることができる子 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えをもち、自信を持って表現できる子ども 互いの考えを伝え合う子ども 比較、分類、関連付け、理由付けなどして考えることができる子ども 危機回避能力を身に付けた子ども 【キーワード】自分の考え、自信、表現力、伝え合う、危機回避能力
学びを人生や社会に生かそうと向かう力、人間性等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見付け、学びに向かうことができる子 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な課題に協力しながら取り組む子 地域のひと・もの・こととつながる子 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見つけ、解決していこうとする子ども 様々な課題に仲間と協働しながら取り組む子ども 自ら挑戦し、粘り強く取り組む子ども 地域の人・もの・こととつながる子ども 【キーワード】自ら学ぶ、協働、挑戦、粘り強さ、地域とつながる

育成を目指す子どもの姿
明治小学校が育てたい「具体的な子どもの姿」

A: 「グランドデザインの中のめざす子どもの姿」から
B: 「学校経営方針」から
C: AにもBにも入っていないが必要だと思ふもの

数が多いすぎてどこから取り
組めばよいかわからない。
夏休業者中の校内研修で
絞っていきましょう！

2学期 最初の校内研修にて (8月28日)

「育成を目指す子どもの姿」を具体的に描く (資質・能力の三つの柱)

2019/08/28 (教務：武田)

<p>生きて働く知識及び技能の習得</p>	<p>育成を目指す子どもの姿 明治小学校が育てたい「具体的な子どもの姿」</p>
<p>未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成</p>	<p>○基礎・基本の力を身に付けた子ども (生活面、学習面、学力)</p> <p>○自分の思いや考えをもち、自信をもって表現するとともに、互いに伝え合う子ども</p> <p>* 思いや考えを書いて表現することを重視する。</p>
<p>学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等の涵養</p>	<p>○互いを認め合える子ども</p> <p>○自ら課題を見付け、その課題に向かって粘り強く挑戦できる子ども</p>

◆授業改善の方向性 (具体的な取組) 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業づくり

(1) 「めあて・課題・まとめ・振り返り」の適切な設定と板書の構造化

① 学習の見通しをもたせ、意欲を高める「めあて」

② 追究すべき事柄を明確にする「課題」

③ 学びの成果を実感し、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげる「振り返り」

* 振り返りの重視・・・文字言語にて熟考

ア 学習内容を確認する振り返り＝(追究した結果を明確にする「まとめ」)

イ 学習内容を現在や過去の学習内容と関係付けたり、一般化したりする振り返り

ウ 学習内容を自らとつなげ、自己変容を自覚する振り返り

④ 板書の構造化

○ 思考を整理したり促したりする板書→「互いの考えを伝え合う」ために効果的

○ 思考の過程を振り返ることができ板書→「振り返り」に効果的

(2) 単元構成の工夫 (国語科「書く」領域との関連を図る)

○ 体験活動と表現活動をつなぐ

(3) 「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り

① 評価規準 (付けたい力) を確認したり設定したりして授業を行っている。

② 評価規準に基づいて、子どもの状況を見取るための工夫や努力をしている。

③ 「C努力を要する状況」の子どもにも手立てを講じている。

(4) 生徒指導の3機能 (人権尊重の3視点) を意識した学習展開

① 自己存在感を持たせる場を設定した授業を行っている。

自分の考えを書いたり話したりして、みんなの前に示す支援の工夫がある。

② 共感的な人間関係を育む場を設定した授業を行っている。

友達の発言のよさに気付けると共に、互いの考えを交流し、互いよさに学び合う場の工夫がある。

③ 自己選択・決定の場を設定した授業を行っている。

自分の考えを持たせる場の工夫がある。

また、学習成果のまとめ方を自分で選択・決定できる場の工夫がある。

自分の授業を見つめてみよう！

「授業づくり」と「仲間づくり」

- 【体験活動と表現活動をつなごう！】
- ◆ 体験活動を取り入れた (意識した) 単元構成を！
 - ◆ 体験活動の線り返して、体験を「意味付ける」「価値付ける」
 - ◆ 体験したことを「言葉」にして、体験内容と関係付けたり、一般化したりする振り返り
 - * 学習内容を現在や過去の学習内容と関係付けたり、一般化したりする振り返り
 - * 学習内容を自らとつなげ、自己変容を自覚する振り返り

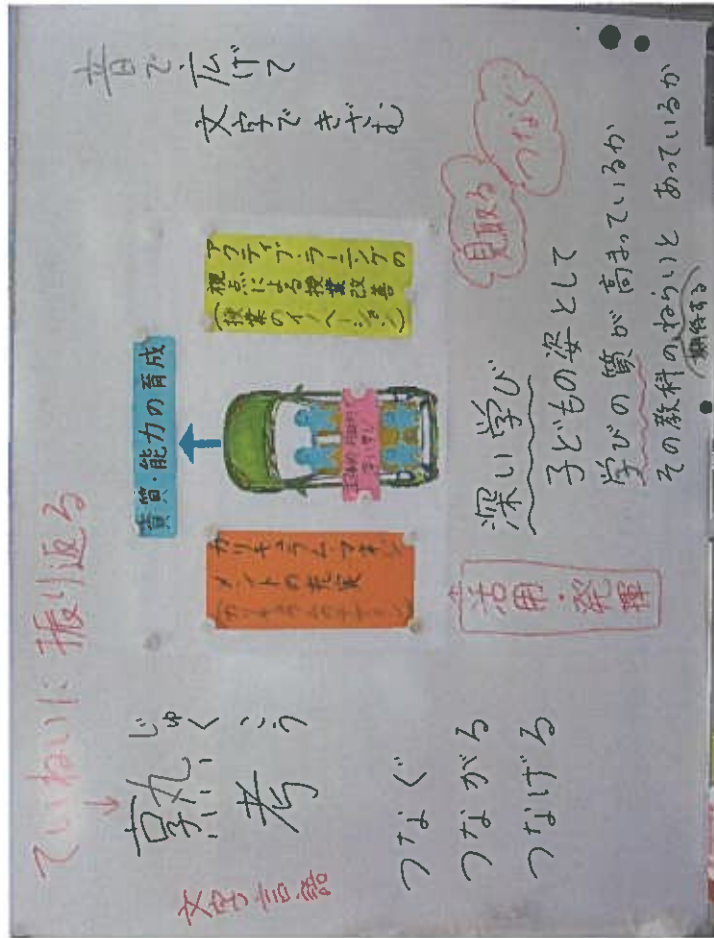
めあて 振り返り

【引用・参考文献】

- 大分県教育委員会 「新大分スタスダンダードのすすめ」 「人権の『授業づくり』のすすめかた」
- 田村学 『深い学び』 (東洋館出版社)

2学期

7月24日
 独立行政法人教職員支援機構
 『主体的・対話的で深い学び』の表現に向けて (NO25)』を
 視聴・活用して研修



- 1 単位時間の評価規準を具体的に設定することで、児童生徒に提示する (あるいは児童生徒と作り上げる) 「めあて」も具体的にすることができ、学習の見通しをもたせることができず。
- 評価規準を児童生徒の具体的な姿で設定すれば、1 単位時間の評価も短時間で的確に行うことができます。
- 評価規準に照らし合わせて「C 努力を要する状況」の児童生徒をまず見出し、できるだけ1 単位時間の中で手立てを講じ、「B おおむね満足できる状況」にすることが大切です。

～「新大分スタンダードのすすめ (平成31年3月版)」より～

【授業づくりのポイント1】
 「めあて・課題・まとめ・振り返り」の適切な設定と板書の構造化

めあて	付けた力を身に付けさせるための、本時で目指す「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」。
課題	その時間に解決すべき事柄。 「なぜ～なのか」「～することはできるだろうか」「どうしたら～できるか」など、疑問形で示すことが多い。
まとめ	本時の課題に対する答え・結論に当たる。
振り返り	めあてに対する振り返り。 学びの成果を実感させ、学んだことや意欲・問題意識等が次につなげられるよう視点を設定することが望ましい。

※「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の4つが毎時間の授業で必要だというわけではない。

～「新大分スタンダード (平成28年3月版)」より～

評価規準の具体化は、個に応じた指導の第一歩です！

1月7日 校内研修 (3学期の取組)

2020/01/07 (教務・武田)

「育成を目指す子どもの姿」に近づくために

【学校教育目標】ふるさとを愛し、豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きる子どもの育成

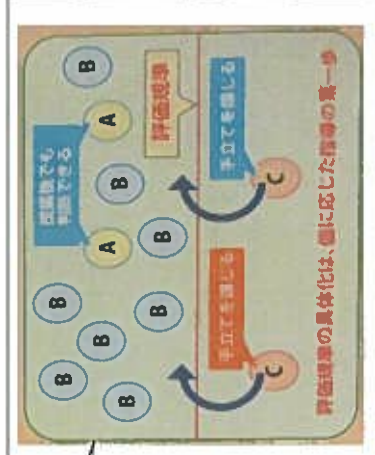
夏休みの研修で、学校教育目標を達成するために、育成を目指す子どもの姿を資質・能力の三本柱で整理しました。その中から、2学期は「基礎・基本の力を身に付けた子ども」(知識及び技能の習得)の姿を目指して、「**めあて・課題・まとめ・振り返り**」の適切な設定に力を入れてきました。自己評価はいいかがでしようか? ルーブリック等から考え、成果はあったと捉えています。

ただ、「**具体的な評価規準**」に基づき**確かな見取り**については、引き続き取り組む必要があると考えます。

～「新大分スタンダード (平成 28 年 3 月版)」より～

評価規準の具体化は、個に応じた指導の第一歩です!

- 1 単位時間の評価規準を具体的に設定することで、児童生徒に提示する(あるいは児童生徒と作り上げる)「めあて」も具体的にすることができ、学習の見通しをもたせることができます。
- 評価規準を児童生徒の具体的な姿で設定すれば、1 単位時間の評価も短時間での確に行うことができます。
- 評価規準に照らし合わせて「C 努力を要する状況」の児童生徒をまず見出し、できるだけ 1 単位時間の中で手立てを講じ、「B おおむね満足できる状況」にすることが大切です。



4 月から新学習指導要領が全面实施となり、評価は全て資質・能力の三本柱となります。本校が目指す子どもの姿を再度確認しましょう。

3 学期は、「自分の思いや考えをもち、自信をもつて表現する」とともに、「互いに伝え合う子ども」(思考力、判断力、表現力等の育成)の姿をめざした取組みに力を入れたいと考えます。そのことは、「互いを認め合える子ども」(学びに向かう力、人間性等の涵養)の姿をめざすことにもなります。

- ① 「思いや考えを書いて表現することを重視する」ためには、**体験活動と表現活動をつなぐことが大切です**。(操作活動、グループ活動等も体験活動と捉えます。)
- ② **板書が構造化されると、自分たちが話していることが可視化されると共に整理されていくので、思いや考えをつなぎやすくなります。**
- ③ **単元構成の工夫に取り組みましょう。**

1 月 ◎板書の写真交流 (研修時、2～3人ずつ示す) 15日、22日、29日

2～3月

◎「**思いや考えを書いて表現したもの (成果物)**」と「**手立て**」の交流。

・どの教科でも OK。

・「書いて表現」については、ノート、ワークシート、振り返り、作文等々、教科によって違うので授業者に任せる。

○「単元構成の工夫」があれば、積極的に発信して下さい。

2学期

3学期

<p>生きて働く知識及び技能の習得</p> <p>未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成</p>	<p>◆ 育成を目指す子ども姿</p> <p>明治小学校が育てたい「具体的な子ども姿」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本の力を身に付けた子ども (生活面、学習面、学力) ○ 自分の思いや考えをもち、自信をもつて表現するとともに、互いに伝え合う子ども * 思いや考えを書いて表現することを重視する。 ○ 互いを認め合える子ども ○ 自ら課題を見付け、その課題に向かって粘り強く挑戦できる子ども 	<p>◆ 授業改善の方向性 (具体的な取組)</p> <p>生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業づくり</p> <p>(1) 「めあて・課題・まとめ・振り返り」の適切な設定と板書の構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学習の見通しをもたせ、意欲を高める「めあて」 ② 追究すべき事柄を明確にする「課題」 ③ 学びの成果を美感し、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげる「振り返り」 <p>* 振り返りの重視・・・文字言語にて熟考</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 学習内容を確認する振り返り＝(追究した結果を明確にする「まとめ」) イ 学習内容を現在や過去の学習内容と関係付けたり、一般化したりする振り返り ウ 学習内容を自らとつなげ、自己変容を自覚する振り返り <p>④ 板書の構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 思考を整理したり促したりする板書→「互いの考えを伝え合う」ために効果的 ○ 思考の過程を振り返ることができ板書→「振り返り」に効果的 <p>(2) 単元構成の工夫 (国語科「書く」領域との関連を図る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体験活動と表現活動をつなぐ <p>(3) 「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 評価規準(付けたい力)を確認したり設定したりして授業を行っている。 ② 評価規準に基づいて、子どもたちの状況を見取るための工夫や努力をしている。 ③ 「C努力を要する状況」の子どもにも手立てを講じている。 <p>(4) 生徒指導の3機能 (人権尊重の3視点) を意識した学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自己存在感を持つたせしめたりして、自分の考えを述べたり話したりして、みんなの前で示す支援の工夫がある。 ② 共感的な人間関係を育む場を設定した授業を行っている。 ③ 自己選択・決定の場を設定した授業を行っている。 <p>友達の発言のよさに気付くと共に、互いの考えを交流し、互いによさに学び合う場の工夫がある。自分の考えを持たせざる場の工夫がある。また、学習成果のまとめ方を自分で選択・決定できる場の工夫がある。</p>
<p>学びを人生や社会に生かそうとする力、人間性の涵養</p>	<p>【体験活動と表現活動をつなごう!】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 体験活動を取り入れた(意識した)単元構成を! ◆ 体験活動と表現活動の繰り返し ◆ 体験したことを「言葉」にして、体験を「意味付け」「価値付ける」 * 学習内容を現在や過去の学習内容と関係付けたり、一般化したりする振り返り * 学習内容を自らとつなげ、自己変容を自覚する振り返り 	<p>自分の授業を見つめてみよう!</p>

「授業づくり」と「仲間づくり」

(2019年8月28日 校内研修資料)

【引用・参考文献】

- 大阪府教育委員会 「新大分スタンダードのすすめ」
- 田村学 『深い学び』 (東洋館出版社)

第1学年 生活科 『新しい1年生と交流会をしよう (仮題)』 内容 (8) (9)

2月17日に行われる「新しい1年生との交流会」について考える初めての初めての時間である。
 7月の「七夕交流会」、12月の「あきまつり」と、こども園の年長さんと交流を繰り返してきた。
 「自分たちは4月から2年生」「新しい1年生が入学して来る」という見通しをもち、これまでの交流に思いを巡らせながら、何をしたいか、何をすればよいか、どうすれば年長さんが喜ぶか等のアイデアを出し合う (考えを広げる) 時間とする。

2020/01/11
 (武田)

あたらしい1年生とのこうりゅうかいについて (仮題)

め
 ○ そとで(あそび) (あそび) (あそび) (あそび) (あそび)
 ○ かんぱん (あそび) (あそび) (あそび) (あそび) (あそび)
 ○ からこうをあんない (あそび) (あそび) (あそび) (あそび) (あそび)
 ○ みんなでうたう (あそび) (あそび) (あそび) (あそび) (あそび)

1年生 (みんな)

○ えを聞いてあてる
 ○ きょうかしてノートを見せる
 ○ ランドセルをかわせる
 ○ 名まえをおしえる

いろいろなアイデア

○ やさしくしたい
 ○ 名まえのしょうかい
 ○ おりがみメダルのプレゼント

○ 年長さんがようこぶのものをかんがえるのがむずかしかったです。なやむ。
 ○ こうりゅうかいには、いそがしそふ。
 ○ 年長さんのことをかんがえていゆんびしたい。

4月～2年生

2月 3月 4月

交流は楽しい。またしたい。
 心を一つにして年長さんが喜ぶように工夫したら、年長さんがニコニコして、自分たちも嬉しい気持ちになった。

板書の構造化により、子どもの考えはつながっていく!

- (1) 3学期の学習内容を目次で知り、教科書を見る。(5分) *活動のヒントになる
- (2) 教師が示した「めあて」「カレンダー」を見て、単元の見通しをもつとともに、今日の学習内容を理解する。(5分)
- (3) 過去の交流会 (七夕交流会、あきまつり) のことを思い出す。(2分)

- (4) 今年度の交流会、自分たちが入学した時のこと、昨年度3月に招待された交流会の時のことなどに思いを巡らせながら、考えを出し合う。(途中で相談タイムを2分設ける。その間に黒板の左右に子どもの絵を書いた。)

- (5) 振り返りをする。(3分)

A. 「私は自分のことしか考えてなかったけど、『教科書やノートを見せる』っていう B. 「ちゃんの考えを聞いて、年長さんのことも考えんといけんと思った。」
 武田 「どういうこと?」 (Aさんも年長さんのことをよく考えて発言していると言っていた。それなのに、この発言はどのような意味なんだろう? と思った。)
 A 「もしサッカーで遊ぶってなったら、私はサッカーが上手くないから練習せんといいけんって思った。」 → (板書) 年長さんのことを考えて準備したい。